なにわの故郷（ふるさと）事務所

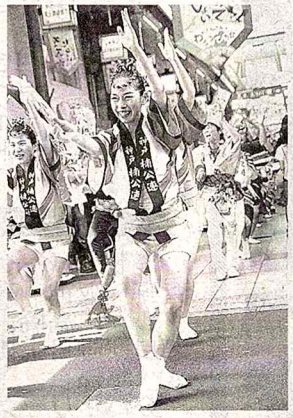
▷▷3

徳島県関西本部

「踊る阿呆」で夏の暑さ吹き飛ばそう

「阿波おどり」を一度見てみたい、私も踊ってみたいという方にお知らせです。

徳島県関西本部では、日本三大盆踊りの一つとされる「阿波おどり」を通じて、関西でも人と人との〝和〟を広げるために、さまざまな取り組みを行っています。27日には中崎町ホール、8月18日には天神天満で本場さながらの「阿波おどり」を体感できます。



阿波おどりを披露しながら商店街を練り歩く神戸楠公連の皆さん

日本一長い天神橋筋商店街を総勢500人で踊りこむ姿は圧倒的な迫力です。当日は、「にわか連」として一緒に踊ることもできます。もちろん飛び入り参加大歓迎です。皆さん、「見る阿呆（あほう）」ではなく「踊る阿呆」になって夏の暑さを吹き飛ばしませんか。

関西阿波おどり協会では、連員を募集しています。この機会に本格的に阿波おどりを始めてみませんか。熟練の技を伝授してくれます。

また、徳島県は「関西の台所」と呼ばれるほど、豊かな食材に恵まれています。爽やかな香りが人気のスダチ、シコシコ食感が自慢の鳴門わかめ、徳島の自然が育てた地酒、伝統の製法で知られる半田そうめん、なると金時を使ったスイーツなどはお土産、贈答品に重宝されています。

御堂筋沿いのアンテナショップ「とくしま県の店」で取りそろえていますので、皆さまぜひお気軽にお立ち寄りください（平日午前10時～午後4時半）。

徳島県関西本部は大阪市中央区南船場3の9の10、徳島ビル（大阪メトロ御堂筋線・長堀鶴見緑地線「心斎橋駅」1番出口から北へ徒歩3分）。電話06（6251）3273。

（徳島県関西本部、髙田朋枝）

香港・地下道の光景とメディア

去年の冬頃、香港を訪れた。宿泊先のホテルから30分程タクシーに乗って行くと、海沿いには今まで見たことないほどのスケールの工業地帯が広がっており、前方には無数の高層ビルがそびえ立っていた。日本生まれ、日本育ち、海を渡った経験すらなかった私は、その光景に言葉も出ず、ひたすらに目に焼き付けていた。街では、夜になると噴水ショーや高層ビルを利用した光のショーが行われ、30分も前から大勢の人が足を運んで、待ちわびていた。その付近では屋台もにぎわい、まるでお祭りのようだった。

そんな雰囲気を楽しんだ帰り道、それまでの雰囲気から一変する光景を見た。地下道の入り口のそばを歩いていると、中から独特の笛の音が聞こえてきた。その音に引かれるように中へ入っていくと、急に薄暗く、不気味な感じがした。奥に進むにつれ、不気味な笛の音が大きくなり、もう引き返そうと思ったその時だった。

前方に古びた格好の長髪の老人が見えた。どうやら音は彼の持っていた楽器からのようだ。その向かい側には老婆の姿も見えた。感じたことのない雰囲気に恐れながらも、彼らの正面を通り過ぎた。すると老婆がお金の入った箱をこちらに向けて何やらしゃべりかけて来た。何となくお金を要求していることを察した私は足早にその場を去った。地下道の階段を上り、地上へ出るとさっきまでの不気味な雰囲気から解放された。

後から知ったことだが、中国ではあのようなホームレスはそう珍しくないそうだ。国が掲げる共産主義とは裏腹に貧富の差が激しく、資本主義的な一面も持つ中国。私が見たあの光景はその場を訪れた人にしか分からないだろう。政府から厳しい検閲を受ける中国メディアは人々に発信すべき特定の情報を遮断されている。大きな影響力を持つメディアだからこそ、抱えている問題の真実を国民に発信していく必要があると私は思う。

そのためにはまず、政府のやり方から変える必要がある。いくら優秀な記者がいたとしても、政府の監視がある限り、彼らは書きたい記事を書くことができない。あのホームレスたちがいつの日か通行人に物乞いをしなくてよくなる日がくることを私は願っている。

（近畿大学総合社会学部総合社会学科、社会・マスメディア系専攻2年、山口秀斗）

「読者のひろば」係へ。E
メールで投稿する場合のア
字以内）を明記すること。
さい。●我が家の宝
●一日一笑　こちらこち